

キルギス、ケニア、カンボジア地域での商品開発プロジェクト

「インクルーシブ・ビジネス・リーダー賞」を受賞

無印良品を展開する株式会社良品計画(本社 東京都豊島区/代表取締役社長 金井政明)は、2013年10月、IFC(国際金融公社: International Finance Corporation, 以下 IFC)が開催する「インクルーシブ・ビジネス・リーダーズ・フォーラム 2013」にて、「インクルーシブ・ビジネス・リーダー賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。

IFCでは、貧困問題という途上国の社会的課題の解決に、収益を上げながらビジネスとして成立する事業モデルをインクルーシブ・ビジネスと定義しています。生産者を自社のバリューチェーンに取り込みながらビジネスを行っている企業を対象にそのビジネスモデル、開発効果、ビジネスの成長の可能性、社会・環境・財務の持続性などをもとに審査を行い、インクルーシブ・ビジネスを促進する環境づくりに取り組んでいます。

無印良品では、ものづくりの一環としてキルギス、ケニアやカンボジアで商品開発を行っています。この活動は、今年6月に国連開発計画(United Nations Development Programme, 以下 UNDP)が主導するビジネス行動要請(Business Call to Action, 以下 BCtA)に、アジアの小売業として初めて承認されました。そして、この度の「インクルーシブ・ビジネス・リーダーズ・フォーラム 2013」においても同様に高く評価されたものです。

IFCでは世界中のインクルーシブ・ビジネスのリーダーを招き、インクルーシブ・ビジネス・リーダーズ・フォーラムを開催しています。このような途上国の生産者と共に取り組みビジネスを成長させる活動は、国際的な場においても広く認められてきています。

同年9月、ニューヨークにてBCtAの年次会合が開催されました。この会合の第一セッションに良品計画がパネリストとして登壇し、当社の取り組みを紹介するとともにインクルーシブ・ビジネスをどう推進し成功させるのかについての議論に参加しました。当社では、BCtAに承認された事業に代表されるように、普段取り組んでいる本業のものづくりを通して、地域に貢献しようと考えています。また世界中の様々なパートナーと共に力を合わせて新しい商品・価値を生み出したいと考えています。

◆国際金融公社(IFC: International Finance Corporation)について

1956年設立。途上国の民間セクター支援を専門とする世界銀行グループの国際機関。発展途上国の経済開発を促進することを目的に、プロジェクトに対する投融資や地域コミュニティへの技術支援などを行っている。

◆国連開発計画(UNDP: United Nations Development Programme)について

1966年発足。国連総会と国連・経済社会理事会の管轄下にある国連機関のひとつ。貧困削減とミレニアム開発目標の達成、民主的ガバナンス、危機予防と復興、環境と持続可能な開発の4つを重点分野として、さまざまな開発支援を行っている。

◆ビジネス行動要請(BCtA: Business Call to Action)について

民間企業のコアビジネスを通じて、ミレニアム開発目標(MDGs)を達成することを目的に、2008年に発足した企業・政府・開発援助機関が参加するグローバルな取り組み。

以上